

新宮山彦ぐるーぷ第1881回

社員研修の一環として行仙宿屋根トタン塗替え 及び小屋周り整備並びに旧通信道とモノレール終点整備

◇実施日；平成28年06月11日(土)～12日(日)

◇参加者；山上皓一郎、木下嘉彦、生熊敏男、川島 功、沖崎

吉信、大江加予子、畑林清子、山口泰宏、青木宏充、

梶野照雄(11日)、栗原眞行(11日夕刻着)。11名。

(株)斉藤鐵工所；斉藤 維、三井幹雄、井上浩行、

木南文彦。4名。計15名。

6月11日(土) 薄日後曇、15時頃から山霧発生

先週土曜日の4日に梅雨入りが発表され、月曜日の週間天気予報では、土・日は曇時々雨とのこと。(株)斉藤鐵工所の三井さんに電話確認したところ実施するとの返答がある。

周半ばには、金・土は梅雨の中休みの中との予報に変わり、関係者に実施を連絡する。

(株)斉藤鐵工所の新入社員・社員研修は、本年度3回目となります。工事終了時残ったペンキは、廃棄処分する場合があります。それから、行仙宿の屋根トタンは塗替え時期にあり、処分ペンキを提供してもらえないか打診・要望していた。

トタン屋根のペンキは、相性があり、専門家の点検が必要であると、4月9日に三井・大前氏が来宿して頂き、亜鉛メッキ波板トタンには下塗りと上塗りペンキ塗布を推奨して頂きました。

今回の社員研修は、推奨ペンキを寄贈の上、塗替え作業主体等に協力して実施する事にした。

遠路、兵庫県佐用町から斉藤工場長・三井執行役員他2名は、下北山スポーツ公園の宿泊施設に前泊(内一人岡山県・美作)。

宿泊施設へ迎えに行く時、池原スポーツ公園駐車場で車中泊の青木氏と話している三井氏の姿が見える。(株)斉藤鐵工所の4名・

2台は、宿泊施設を早めに出られ駐車場で待機されていた。

程なく香芝市から山口氏。出発予定時刻より早いと大江・畑林さんは、美味しいとの評判の大福餅を買いに近くのコンビニへ。堺市の梶野氏も到着、後発の木下棟梁、山上さん以外は勢揃いとなり、自己紹介と本日の作業予定を連絡する。

明神池に立寄ったので、9時前に登山口に到着すると、梶野氏がモノレールを始点に下ろして来ている。

下塗り・上塗りペンキ・斗缶・シンナー缶並びに道具類、食料、ザックを積み、梶野・生熊氏はモノレールで上へ。

後発の山上・木下氏がモノレールに乗る為、始点に駐機する必要があり沖崎氏が残り、斉藤鐵工所の方々とモノレール終点へ歩いて上る。既に、荷を降ろしたモノレールは下っている。

モノレール終点駐機地は狭く段差上に荷を置いていたので。川島が荷造り時バケツとたわしの荷を転げ落とし、山口・川島が急斜面を下りて回収する。

(株)斉藤鐵工所の井上・木南氏は、背負い子で重いペンキ1斗缶・硬化剤缶・シンナー缶を担いで行仙宿へ。



登山口到着



重いペンキ缶を担ぐ社員



水汲みを体験

川島は背負い子・ザックが乗っている2便目到着まで待機。荷の上に乗った生熊氏から駐機小屋の上方パイプ支柱に頭を打

つたと報告がある。翌日、運転席に座った三井さんは、頭上スレで通ることが判る。モノレール搭乗者は、進行方向に向って座る事によって、頭を下げて対応出来るので徹底したい。荷が転げ落ちたと話すと、生熊氏から荷の落下防止に不要となった獣除けネットを張る事を提案して下さる。

青木氏、食料2梱包と自ザックを担いで下さるが、一回で行仙宿には運びきれない荷が残るそう。川島が10時に行仙宿に到着すると、先着の(株)齊藤鐵工所の4名は水汲みへ下る姿が見える。

荷を担ぎに下ると、最後尾の沖崎氏と第二ベンチで出会う、荷上げ品は無いとの事なので荷の一部を積替え、先般鉄塔下で調達の雑木薪を少し担いで、10時半前に到着すると水汲み班も到着。青木、山口、梶野の三氏は、旧通信道の最終整備へ。

行者堂で生熊氏導師にして作業安全等の勤行後、(株)齊藤鐵工所4名と沖崎、生熊、川島は、傷んだ煙抜き辺りから、下塗りペンキを塗る前の錆や汚れ付着を落とす作業をする。転落防止のため棟の両端棟木にメインロープを縛って張り、そこから両側に転落防止の短い命綱を垂らし電動サンダーやブラシで拭き取る。



煙抜き・東側トタンの錆落し

錆・汚れ作業終了

日当たりの良い東側トタンは少し錆が出ているが、西側トタン

はゴミ付着が主体であり、天候が持ちそうなので玄関小屋根を除く屋根全面のトタンの錆・汚れを除去き箒で掃き掃除。箒で屋根から掃き落すが、東側から風が吹いており舞い上がり、又屋根上に落ちる始末。

11時過ぎに、山上・木下棟梁が到着され、窓に網戸設置を依頼したので作製の採寸をして頂く。

思ったよりも錆の箇所も少なく11時半過ぎに錆・汚れ落し作業を終え昼食。

下塗りペンキは、亜鉛メッキに適したエポキシ樹脂塗料で、この塗料用のシンナーで薄めて、東側と西側トタン班に分かれて下塗りペンキ塗り作業をすると三井さんから説明がある。

(株)齊藤鐵工所の方は、白色のつなぎ仕様保護服を着て、波板用ロール刷毛でペンキ塗り、生熊・沖崎氏は刷毛塗り。川島は、掃き掃除と命綱張りを行う。又、屋根上に張り出した杉・雑木の枝を鋸で切り落とす。



昼食懇談中

率先垂範のペンキ塗り

命綱でロール刷毛塗り

ペンキ塗りは、本職で無いので薄かったり、濃くなったりして、全屋根が塗れる。ペンキ量との事であったが、塗料が足りなくなると西側半分が塗れず、下塗りペンキ作業は14半頃に終了した。この間、木下棟梁、山上さんは、便器及びトイレ周りの掃除・

点検をして下さり、便槽マンホールの鉄製蓋が腐食していて取替
品を発注する必要がある、梶野氏が計測する。



玄関側屋根下塗り完了



東側トタンペンキ塗り



塗れなかった西側屋根 下塗りを終えた東側



その後、焼却炉前の不要となり放置していた囲炉裏の煙抜きフ
ードの解体撤去と周辺の落葉等を掃き集め焼却されていた。
14時頃に旧通信道班が、作業を終えて戻り梶野氏が加勢。又、
沖崎・生熊、青木、山口氏は、桧丸太をチェンソーで切り薪作り。
大江・畑林両氏の賄い方は、合間に屋根の支障となり切除した枝
から薪作り。

下塗りペンキ塗りを終えコーヒータム、(株)齊藤鐵工所の土産

品「塩饅頭」を頂戴する。

(株)齊藤鐵工所には初参加の社員もあり、世界遺産・奥駈道の体
験歩行の為、15時から三井さんの案内で行仙岳へ。山霧発生で
何も見えなかったと16時頃に下山され、薪割り作業中で体験の
ため加勢をして頂いた。



休憩後本日の作業者



薪割りをやって見せ



薪割り体験

棟梁から管理棟、行仙宿の壁下にくっつけて物を置かない。又、
時々掃除をして建屋を長持ちさせるように注意して下さると共に
率先して掃除をされる。



鍋奉行の出番か



水炊き等で懇親会の宴



17時前に作業を終え、賄い方で調理して頂いた、豚の水炊き、マグロの刺身、胡瓜もみ、枝豆の夕食。

予期せぬ梅雨の中休みに恵まれ、(株)斉藤鐵工所の御厚意とご協力によりペンキ下塗りが出来たことの御礼を述べ、斉藤工場長の乾杯の音頭で懇親会宴が始まる。山上氏から沖繩の泡盛等の差し入れがある。



栗原氏来宿

われらの仲間・栗原医師(伊賀上野病院へ転院)が、自宅から車で2時発、前鬼バス停4時発で、太古ノ辻を経て18時過ぎ来宿された健脚である。青木氏は以前車で送ったお礼に何時作業に来るかと待っていたとの声に、明日作業を手伝います!

梶野氏は18時半過ぎに下山。

木南氏の尻芸で大いに盛り上がり中、栗原氏は早朝からの行動の疲れもあり早々に就寝。一旦食卓を片付け、女性陣が食器を洗って下さる。ストーブの周りに集まるが、作業の疲れと酔いから一人二人と欠け、最後の数人は22時に消灯・就寝。

行動タイム

新宮 6:55→8:00 池原スポーツ公園 8:25→8:50 登山口 9:00→9:20
M機終点 9:25→10:30(最後)行仙宿 10:45→鏑落し作業 11:35→
11:40 昼食 12:25→11:30 下塗り作業 14:25→休憩 15:00→薪作り
16:40→17:10 夕食→22:00 就寝。

水炊き完食!

朝食前に建屋横・落葉掃除

6月12日(日) 曇り後小雨

女性陣は、管理棟で就寝。起床6時、朝食7時からとしていたので、早起きした人は朝食前に建屋周りの片付けや落葉掃き掃除作業をする。又、三井・木南氏は水汲みへ。

管理棟軒下の砂・バラスの1斗缶は、北側に積替のため動かすと、水が入り腐食していて底が抜け壊れてバラけた。又、缶に水が入り重く底近くを釘で穴を明けて抜きようやく積替える。

作業を中断して7時過ぎから朝食。夕食の御飯が多く残り、茶粥御飯に味噌汁・めざしと鰯干物・漬物の朝食で、少食気味となったので残飯なし。

朝食後、建屋周りの砂・バラス・栈木用割り木の移動整理班(木下・山上・沖崎・栗原)とM機終点駐機地(プラットホーム)作業班に分けた。

M機終点駐機地作業班は、川島、生熊、山口、青木氏と10時頃に下山予定の(株)斉藤鐵工所の皆さんは、作業後直ぐに下山出来る様に自荷を持参して貰う。

終点駐機地作業班は、チェンソー、ツルハシ、剣スコ、ジョレン・トンガ、土嚢袋・鋼管杭4本、獣除けネットと持帰って処分する廃棄物を各々手分けして持ち、モノレール終点駐機地へ下る。鋼管杭2本と立木を利用して、転落防止に獣除けネットを張る。終点駐機地の斜面の土砂をトンガ・ツルハシ・剣スコ等で崩して拡幅作業、取除いた土砂は土嚢袋に入れる。

講習済の三井さんがモノレールを運転して、削った斜面の崩落土留めに使う枕木割り木を、川島とモノレール駐機地小屋前に在る資材置場を上下する。

削り取った斜面の崩落土留め防止に枕木を積み上げ鋼管杭で打ち止め、積上げた枕木と斜面との隙間に石と土砂で埋める。又、古木切株はチェンソーで切除して平らにすると共に道を拡幅して道端を土嚢袋で固め5段差を作った。木杭は、青木氏が調達したものを使わせて貰った。



㈱斉藤鉄工所の作業者



駐機地の拡張



段差作り

9時50分に作業を終え、㈱斉藤鉄工所の皆さんは三井氏運転のモノレールで下山され、握手で再会とお別れをする。

㈱斉藤鉄工所の皆様の社員研修は、世界遺産「修験の道・大峯奥駈道」のボランティア奉仕活動で、いわゆる利他修行されたので、この体験が多少なりと活かされれば幸甚と思っております。二日間の頑張りに感謝申し上げます。

川島は、折り返し無人モノレールが戻る迄待機。行仙宿に戻る途中、モノレール地点まで持帰って処分する荷を担いだ栗原氏とすれ違う。

行仙宿へ戻ると行仙宿軒下の栈木用割り木が移動整理され、砂・バラスは積替えられ、新規ブルーシートが被されていた。

東側水槽辺りの犬走りのコンクリート再舗装が、日延べされているのであるだけ早く舗装したい。

11時頃から管理棟のトユに落葉が溜まっていて、脚立を使って木下棟梁が除去すると生熊氏がトユへの落葉防止のネット取付ける作業をされるが、雨が降りだし一区切りできる所で作業を止めて頂き缶パンの昼食。

雨具着用する程の降りでなくなり、山上、棟梁以外は荷を担ぎ歩いて下山。

青木、山口、栗原氏は、きなり湯で入浴後、栗原氏の單車駐車の前鬼バス停まで、青木氏が送るとの事から登山口で解散。
大沼経由で帰新途中、先行した木下棟梁が小松への分岐で上漣筏下りを見て帰ろうと誘われ付き合う。小松方面へと進み上漣トンネルを抜けた地点で、雨が降る中約20分待って、瀬を下る筏下りを眺めてから帰新した。
尚、大江・畑林さんの賄い方のお陰で、作業に没頭出来たことに感謝申し上げます。



上漣・上漣付近筏下り

行動タイム

7:10 朝食→8:00 作業 11:10→11:30 昼食→12:35 登三口 12:45→13:20 小松・筏下り 13:50→14:30 新宮。

寄贈品(お菓子・食料品は除外)

㈱斉藤鉄工所；

- ① 上塗りペンキ1斗缶(ウレタン樹脂)と硬化剤・シンナー缶
- ② 下塗りペンキ1斗缶(エポキシ樹脂)と硬化剤・シンナー缶
- ③ 錆落し・ペンキ塗り道具類一式。

青木宏充；木杭一束(12本)

(記 川島)